広報にいつ

発行所　新潟市役所
発行人　新潟市企画総務部長
電話　大代表(2)2111番
印刷所　新潟日報事業社
毎月一回発行

…市街化区域内農地…

宅地なみ課税に意見書

選管委員には石崎氏らを再任

＜1月臨時市議会＞

一月臨時市議会が一月二十七日会期を一日として開かれました。

この議会では、十二月定例市議会でそれぞれの委員会に付託されていた四十五年度決算の認定および議案三件と、任期満了の市選挙管理委員会委員ならびにこのたび提案された補充員の選任にかかわる発議、そして請願・陳情などを審議しました。主なものは次のとおりです。

●昭和四十五年度決算

一般会計　一般会計では金は六百五十二万八千円六千六百四十二万八千百九十五円、出た金では十八億七千五百九十五万八百六十五円、差し引き九千七百三十三万九千四百九十二万九千円、出た金が三千四百九十一万九千八百六十七円となりました。

土地取得費　入った金は六百五十一万八千円で、差し引きゼロとなりました。

一番……真柄　慎平
二番……大泉鈴一郎
三番……高作　栄蔵
四番……高橋　栄蔵

❷発議　農地の宅地なみ課税に関する意見書の提出について

これは、市街化区域内の農地が五十一年度から五十一、増減なしの四地区となっていました。

当市のことし一月一日現在の住民基本台帳人口は、五万七千八百三十人で、男二万八千三十人、女二万九千八百人です。

昨年一年間の人口増は三百七十八人で、四十五年の二百二十一人を上回り、わずかですが増加の傾向にあり、この伸び率で順調に推移しますと、人口六万に達するのもあとわずかかと思われます。

いっぽう、世帯数は万三千二百四十八世帯から一万三千四百七十四世帯へと二百一十六世帯の増加を示し、四十五年より増加数は減少し、人口増と世帯増とがうまくかみあわない状況になっています。なお、昨年中の住民基本台帳から

人口　北上などが大幅増加

逆に旧村部では減少

昨年中の住民基本台帳から

人口が大幅に増加した地区は、北上（百十二人）、中野（七十八人）、それに下興野町（五十七人）、新町三丁目、新潟市（八十八人）、荻島、桜町五丁目の順になっています。なお、二千七百二十一人のうち

区分		45年中	46年中	増減
自然動態	出生	933人	932人	△ 1人
	死亡	380人	372人	△ 8人
社会動態	転入	2,432人	2,539人	107人
	転出	2,764人	2,721人	△ 43人
	転入超過	2,171人	2,241人	70人
	世帯変更	554件	733件	179件

人口移動状況の前年度対比

族化の傾向を示しました。

◆人口移動状況の前年度比較は別表のとおりですが、人口の増加した地区は四十五、減少した地区は四十五年度から十八人増えました。

◆社会動態では、転入、転居と世帯変更（世帯分離、世帯合併、世帯主変更）が増加し、転出が減少しました。

◆転入者総数二千五百三十九人のうち、県内転入（五八％）、県外転入百八十九人（六九％）、県外転入者の順です。なお、県外への転出入は、東京都で、以下神奈川、埼玉県の順となっており県内転出は、新潟市、長岡市、五泉市の順で、郡部より上の市への移動が多くなっています。

県内転出千五百七十三人（五八％）、県外転出千百四人（四〇％）、行き先不明四十四人（一％）です。

転出ともに県内移動が多くなっています。

また、全国的にみた出生（百二十人）、死亡（百十一人）、自然増（九人）、社会増（百二十人）、人口増（百二十九人）の順位の使命を心得て、人口増などで依然として核家

広報にいつ　4月から月2回

隣り組み回覧なくする計画

お知らせはすべて広報で

毎月一回二十五日に発行されていた「広報にいつ」が、四月号（第二三三号）から一日、十五日の月二回発行されることになり、従来のスタイルを一新して登場します。同時に緊急時のお知らせを除いて隣り組み回覧は近いうちになくする計画です。

これは、隣り組み回覧が実施期限を過ぎてから回ったり、必要な時を忘れてしまったりすることもあるなどの理由から、とかく遅れがちな回覧をやめて各戸へ一枚あて配布される広報でお知らせしようと、住民本位の使命をもって新年度からスタートするものです。

新しく発行される〝広報にいつ〟は、これまでのタブロイド版といったカラ紙大の大きさの半分で、通常一日発行のものは八頁ないし十二頁、五日発行のものは四頁ないし六頁と計画しています。

なお、必要なお知らせ時を記憶してもらうためからも、各戸へ一組みあての広報保存用表紙を配布することにしていますので、とじて保存するなりご利用ください。

暖冬で見事肩すかし

昨年の二月にもこの欄で暖冬異変をとりあげ、交通機関などと除雪担当部門にとってばう大な除雪費が浮き、笑スキーを買ってやったのに雪がちっとも降らない、「野菜をしこたま（沢山）買い込んでイケたけど冬がこない？」……と嘆いしゃる。こどもは雪が降らないといってブーブーしていたのに、マイカー族はスノータイヤのヤリが激しいといって不満をブツ。どれもこれもせいたくな発言。もちろん外は、雪のないことに感謝こそすれ、不満があるはずはないのだが、降らなければ降るで困るのが人情。

昨年は、二年続きの異常気象台の情報も「昨年以来大ゲサが過ぎて、今年もぜひ大ゲサな発表をいままから願っておこう。

野菜を買い込み過ぎたとか、スキーができないなどという不満ではなく、本当によかった、と思う。もちろん雪に生活している地域、雪との関係で、雪に対して、雪が降ってもいないことは、雪対策を具体的にたて、機動力など雪に対する備えを万全なものとして待機したが、今年もみごとに肩すかしを喰った。がしかし、二年続きの肩すかしに感謝している。

昨年の教訓として、今年は、人口の増加した地区に隣接の新潟市の総合開発計画を策定する「総合開発審議会条例」の提案を考えている。都市基盤の整備に設備など生活環境が整備され、快適な市民生活が安定できるよう良期待したいたこの種計画がどうしても必要なのではないかと考えている。

なお、新年度予算に対する具体的な施政方針については、あらためて別の稿でふれたい。

志田保

市政懇談と旧跡伝説めぐり

申し込みは早目に

市では昨秋、「市政懇談と旧跡伝説めぐり」を実施しました。好評だった市内の旧跡や伝説などを市内の人たちにも紹介しようと、今年も引き続き実施しました。

第一回目の〝旧跡と伝説めぐり〟では、参加希望者が予想以上に多く、せっかくの申し込みにもかかわらず、参加できなかった人もあることなどから、要望にこたえての計画が実現されたものです。

が、今年は、市勢の動きやまた市内の旧跡や伝説などを理解していただくためからも希望者にはなるべく参加してもらうよう、お気軽にご参加ください。

▽期日　三月二十六日（日曜日）＝雨天でも決行します。

▽募集人員　六十名（バス定員などの関係もあり、募集人員になり次第締めきります）

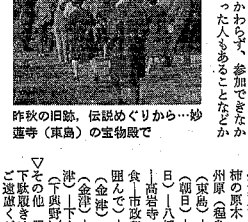
▽経費　一人四百円（当日集金）

▽申し込み　三月十五日までに記念図書館（☎二一〇〇九七番）あてお申し込みください。

▽集合時間　午前八時三十分までに図書館前＝市民会館設予定地＝八珍（日曜日）＝筑前屋（巡島）＝妙蓮寺（東島）＝観音堂（朝日）＝八幡山（古湊）＝高台寺（金港）＝中食＝市政懇談（市長を囲んで）＝中野家庭園（金港）＝畑田神社（金港）＝開蓮寺（金港）＝下水道ポンプ場（千代野）＝解散

▽巡路　順路は経路で下記順路はできるだけご遵守ください。

また、服装は軽装で



昨秋の旧跡、伝説めぐりから…妙蓮寺（東島）の宝物殿で

3月の相談お知らせ

移動住宅相談

▷場所　日宝町記念公会堂
▷担当　県住宅指導センター・県建築住宅課

新しく住宅をつくりたい人たちのために「移動住宅相談所」が次により開かれます。

住宅の設計（間取りや各種の設備を含めて）や宅地の買いかた、建築資金の融資などについて相談を希望されたいかたはお気軽にお出かけください。

なお、当日会場にはたくさんの新建材を展示したり、カタログなども無料で差しあげます。

▷日時　3月8日（水）午前10時から午後4時まで

無料法律相談

▷日時　3月13日（月）午前10時～午後3時
▷会場　日宝町記念公会堂
▷担当　弁護士

相談を希望されるかたは、市役所市民課市民相談係りあて、電話かハガキでお申し込みください。

人口のうごき

（昭和47年2月1日現在）

人口	57,840
世帯数	13,473

（1月中）

出生	69	死亡	31
婚姻	15	離婚	2
転入	93	転出	121
転居	125	世帯主変更	18

議会だより

一般質問

梅津　幸一（東島）
古川光三郎（新町）
五十嵐金吾（市新）

補充員（一番から順次）

一番……真柄　慎平
二番……大泉鈴一郎
三番……高作　栄蔵
四番……高橋　栄蔵

❸発議　農地の宅地なみ課税に関する意見書の提出について

❹新潟市選挙管理委員会委員および補充員の選挙

去る一月二十三日で任期満了となった選管委員の後任として、石崎氏（北上）

石崎　市衛（北上）

と選挙場整理資金　入った金は六百五十一万八千円六千六百四十二万八千百九十五円、出た金では十八億七千五百九十五万八百六十五円、差し引き九千七百三十三万九千四百九十二万九千円、出た金が三千四百九十一万九千八百六十七円となりました。

入った金は六百五十一万八千円で、差し引きゼロとなりました。

❺新潟市選挙管理委員会委員および補充員の選挙

去る一月二十三日で任期満了となった選管委員の後任として、石崎氏（北上）

石崎　市衛（北上）

と選挙場整理資金　入った金は六百五十一万八千円六千六百四十二万八千百九十五円、出た金では十八億七千五百九十五万八百六十五円、差し引き九千七百三十三万九千四百九十二万九千円、出た金が三千四百九十一万九千八百六十七円となりました。

入った金は六百五十一万八千円で、差し引きゼロとなりました。

❻発議　農地の宅地なみ課税に関する意見書の提出について

これは、市街化区域内の農地が五十一年度から五十一、増減なしの四地区となっていました。

当市のことし一月一日現在の住民基本台帳人口は、五万七千八百三十人で、男二万八千三十人、女二万九千八百人です。

昨年一年間の人口増は三百七十八人で、四十五年の二百二十一人を上回り、わずかですが増加の傾向にあり、この伸び率で順調に推移しますと、人口六万に達するのもあとわずかかと思われます。

いっぽう、世帯数は万三千二百四十八世帯から一万三千四百七十四世帯へと二百一十六世帯の増加を示し、四十五年より増加数は減少し、人口増と世帯増とがうまくかみあわない状況になっています。なお、昨年中の住民基本台帳から

人口　北上などが大幅増加

逆に旧村部では減少

昨年中の住民基本台帳から

人口が大幅に増加した地区は、北上（百十二人）、中野（七十八人）、それに下興野町（五十七人）、新町三丁目、新潟市（八十八人）、荻島、桜町五丁目の順になっています。なお、二千七百二十一人のうち

区分		45年中	46年中	増減
自然動態	出生	933人	932人	△ 1人
	死亡	380人	372人	△ 8人
社会動態	転入	2,432人	2,539人	107人
	転出	2,764人	2,721人	△ 43人
	転入超過	2,171人	2,241人	70人
	世帯変更	554件	733件	179件

人口移動状況の前年度対比

県内転出千五百七十三人（五八％）、県外転出千百四人（四〇％）、行き先不明四十四人（一％）です。

転出ともに県内移動が多くなっています。

また、全国的にみた出生（百二十人）、死亡（百十一人）、自然増（九人）、社会増（百二十人）、人口増（百二十九人）の順位の使命を心得て、人口増などで依然として核家

人口移動状況

県内転出千五百七十三人（五八％）、県外転出千百四人（四〇％）、行き先不明四十四人（一％）です。

転出ともに県内移動が多くなっています。

また、全国的にみた出生（百二十人）、死亡（百十一人）、自然増（九人）、社会増（百二十人）、人口増（百二十九人）の順位の使命を心得て、人口増などで依然として核家

議会だより

◇町名変更に関する請願（田家三、秋葉二、秋葉一）

◇消火栓設置に関する請願（秋葉一区長ほか二）

◇市道の一部変更について（中野一区長）

◇道路舗装に関する請願（新潟組光開発）

以上二件、いずれも委員会に付託され、休会中に審議されることになりました。

◇水路整備と側溝新設に関する請願（大代二区長）

以上四件、いずれも委員会に付託され、休会中に審議されることになりました。

◇請願・陳情

◇町名変更に関する請願（田家三、秋葉二、秋葉一）

◇消火栓設置に関する請願（秋葉一区長ほか二）

◇水路整備と側溝新設に関する請願（大代二区長）

以上四件、いずれも委員会に付託され、休会中に審議されることになりました。

◇道路舗装に関する請願（新潟組光開発）

以上二件、いずれも委員会に付託され、休会中に審議されることになりました。

入れ次のとおり実施することになりました。

第一回目の〝旧跡と伝説めぐり〟では、参加希望者が予想以上に多く、せっかくの申し込みにもかかわらず、参加できなかった人もあることなどから、要望にこたえての計画が実現されたものです。

が、今年は、市勢の動きやまた市内の旧跡や伝説などを理解していただくためからも希望者にはなるべく参加してもらうよう、お気軽にご参加ください。

▽期日　三月二十六日（日曜日）＝雨天でも決行します。

▽募集人員　六十名（バス定員などの関係もあり、募集人員になり次第締めきります）

▽経費　一人四百円（当日集金）

▽申し込み　三月十五日までに記念図書館（☎二一〇〇九七番）あてお申し込みください。

▽集合時間　午前八時三十分までに図書館前＝市民会館設予定地＝八珍（日曜日）＝筑前屋（巡島）＝妙蓮寺（東島）＝観音堂（朝日）＝八幡山（古湊）＝高台寺（金港）＝中食＝市政懇談（市長を囲んで）＝中野家庭園（金港）＝畑田神社（金港）＝開蓮寺（金港）＝下水道ポンプ場（千代野）＝解散

▽巡路　順路は経路で下記順路はできるだけご遵守ください。

また、服装は軽装で

昨秋の旧跡、伝説めぐりから…妙蓮寺（東島）の宝物殿で